



上峰町立上峰中学校だより

ちんぜい

No.9

発行日：令和8年1月16日

発行者（文責）：校長 永田康子

学校教育目標：心豊かに たくましく生きる生徒の育成 ー自ら考え、判断し、行動する中学校生活を通してー
生徒会スローガン：オリジナル～全員の個性が輝く学校へ～

令和8年、新しい年となりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

先週から新学期が始まり、生徒たちが新年のあいさつをする声があちこちから聞こえてきました。毎日寒い日が続いていますが、学校は生徒たちの明るく前向きなエネルギーで活気に満ちています。2週間もすれば、暦の上で冬と春の季節を分ける節分がやってきます。「冬来たりなば春遠からじ」という言葉があるように、冬のつらい寒さを耐えるからこそ、春の訪れがいつそう嬉しく感じられます。始業式では、「休眠打破」について話をしました。桜の花の芽は、前年の夏にすでにできており、一度発芽した後、夏に一旦休眠し、冬の寒さを経て暖かくなり始めると、再び芽が成長して春に見事な花を咲かせます。桜にとって冬の寒さは、休眠状態からの発芽や開花には欠かせないもので、これを「休眠打破」といいます。生徒たちにとっても、3学期はまさに春に開花するための準備の時です。充実した3学期を過ごし、3年生は新しい世界へ、1、2年生は新しい学年へと進んだ自分の姿を思い描きながら、次のステップに向けて、エネルギーをしっかりと蓄えてほしいと思います。

3学期に向けて

始業式で、各学年から代表者が3学期の抱負を述べてくれました。以下に紹介します。

1年生 牟田将崇さん

来年は、いよいよ僕たちも2年生になります。「先輩たちはすごい」と思われるような2年生になりたいです。そこで、新学期に頑張りたいことを二つ決めました。一つ目は、テスト勉強にしっかりと取り組むことです。最初の頃は、範囲も広く、教科も増えて、勉強する量も多くて勉強の仕方さえわからなかったです。今は、勉強の仕方わかってきたので、1年生の内容をきちんと身につけてから2年生になるためにもしっかりと取り組みたいです。二つ目は、色々な人と仲良くすることです。1年生の初めの頃は、けんかや言い合いをし、迷惑や心配をかけたこともありました。友達と仲良くするために、あいさつや優しい言葉かけをして、少しでも仲良くしようと思います。このクラスで過ごすのもあとわずかなので、一日一日を大事にして、楽しく締めくくりたいです。

2年生 山戸柚花さん

3学期では、次に3年生になる学年として、学校の伝統を受け継ぎながら、ボランティア活動など身近なことから自分にできる役割を考え、主体的に行動していきたいです。私たちの学年目標は「Shine～周囲から愛され、応援される学年になろう～」です。この学年目標の達成に向けて2年生全員で頑張っていきます。

3年生 吉富沙彩さん

私の今年の目標は、学習面では志望校に合格することです。受験は初めてのことでとても緊張するし、不安もありますが、しっかり準備して自信をもって挑みたいと思います。生活面では、十分な睡眠をとり、しっかり健康管理をすることです。私たちは、3月でこの上峰中学校を卒業します。このメンバーで過ごすことができるのもあと少しです。全員が希望する進路に進めるよう、お互い声をかけ合い、前向きな気持ちをもって、助け合いながら全員で学習に集中できる環境づくりをしていきたいです。また、上峰中学校を去るにあたり、学年全体として後輩たちに残せるもの、個人がそれぞれ残せるものを考え、それを実行に移し、残された日々を大切に過ごしていこうと思います。



かっこいい上中学生とは？

先日の全校集会では、生徒会長・副会長と校長による鼎談を行い、「かっこいい上峰中学生って？」をテーマに、全校で考える時間をもちました。

この問いに対して生徒たちからは、見た目のよさではなく、「自分の意見が言える人」「自分らしくいられる人」「自分を持っている人」「他の人と比べず、過去の自分に勝てる人」といった内面のかっこよさでした。鼎談の中で生徒会長からは、「ありがとうやごめんねを素直に言える人」、副会長からは「誰も見ていなくても自分から進んで行動できる人」という言葉が語られました。その一言一言から、生徒たちが日々の学校生活の中で、人として大切な価値に気づき、自分なりに考えを深めていることが伝わってきました。

また、生徒会長・副会長からは、自分たちがその立場になってからの成長についても語られました。「誰も見ていなくても、当たり前のことを当たり前、しかも完璧にやり遂げようと努力するようになったこと」「先を見通し、計画的に物事を進められるようになったこと」。こうした言葉からは、責任ある役割を通して、自分自身を高めようとする強い意識が育っていることが伝わってきました。これらの成長は、生徒会長・副会長だけの特別なものではありません。日々の学校生活の中で、一人一人の生徒が、自分の役割を意識し、よりよく行動しようとする姿が確実に増えています。こうした姿は、学校だけで育まれるものではありません。家庭での何気ない会話や、日々の声かけ、見守りの中で育ってきたものが、学校生活の中で表れているのだと感じます。これからも生徒一人一人の内面の成長を大切にしながら、子どもたちの「本当のかっこよさ」を育ててまいりたいと思います。

高校入試について

現在、3年生は高校入試に向けて、これまで以上に学習に集中して取り組んでいます。入学試験に関わる書類については、3年生担当職員が中心になって作成しますが、提出前の確認は一つのミスもないよう全職員で行っています。

さて、高校入試は、3年生だけに关わる特別な出来事ではありません。中学校生活を通して積み重ねてきた学びや経験を振り返り、自分自身の成長に気づく大切な節目です。目標に向かって努力を続ける中で、子どもたちは学力だけでなく、粘り強さや計画性、困難に向き合う力を少しずつ身につけていきます。特に1・2年生にとって、受験期を迎える3年生の姿は、これからの学校生活や学び方を考える大切な手がかりとなります。「今、何を大切に過ごすのか」「日々の授業や家庭学習にどう向き合うのか」を意識することが、将来の進路選択につながっていきます。受験は突然始まるものではなく、日々の積み重ねの延長線上にあります。

ご家庭において大切にしていきたいのは、結果だけで子どもを評価するのではなく、努力する過程や挑戦する姿勢に目を向けていただくことです。思うようにいかない時こそ、話を聴き、気持ちに寄り添い、安心できる居場所をつくることが、子どもたちの前向きな力を支えます。また、規則正しい生活や学習環境を整えること、学校での出来事に関心をもち、温かい言葉をかけていただくことも、学びの土台となります。

学校としても、家庭と連携しながら、1・2年生を含めたすべての生徒が、自分らしく次のステージへ進めるよう、日々の教育活動を大切に積み重ねてまいります。

季節のしつらえ

校内には、季節の花や行事に合わせたしつらえがたくさんあります。忙しい学校生活の中で、生徒たちがふと立ち止まり、季節や自然の移ろいを感じる大切な機会となっています。季節を感じる環境は、心を整え、感性や思いやり、感謝の気持ちを育むことにつながっていると思います。

